

主の祈り (93-5A)

天にまします われらの父よ
ねがわくは、み名をあがめさせたまえ
み国をきたらせたまえ
みこころの天になるごとく、地にもなされたまえ
われらの日用の糧（かて）を、今日もあたえたまえ
われらに罪をおかすものを、われらがゆるすごとく
われらの罪をもゆるしたまえ
われらをこころみにあわせず、悪よりすくいだしたまえ
国と ちからと さかえとは、かぎりなく、
なんじのものなればなり

アーメン

石巻栄光教会宣教基本方針

石巻栄光教会は、主なる神と出会うイエス・キリストの体です。神様が愛している一人一人のかけがえのなさを思い出し、この世界を神様が大切にしていることを思い出す場所です。石巻栄光教会は、希望を生み出します。

私たちは、この社会の現実の中で生きています。教会の中だけでの満足にとどまらず、社会に生きる人々の痛みや苦しき、あるいは楽しみを共にしていくこと、そして、悩みや不安を分け合って喜びに変えていく教会になることを願います。

また、一人一人の生き方を尊重するとともに、神様から一人一人に与えられている賜物を活かして、神さまと人を愛し、感謝しながら地域に仕えていく教会を目指します。



日本キリスト教団 石巻栄光教会

〒986-0854 石巻市大街道北2丁目12-3

電話/FAX: 0225-22-4090

ホームページ: <http://tohoku.uccj.jp/i-eikou>

メール: i-eikou@tohoku.uccj.jp

振替口座: 02280-8-2810

教会創立: 1887年9月25日

集会案内

聖日礼拝	毎週日曜日	午前10:30
早朝礼拝	毎週日曜日	午前7:30
交わりの会	毎週日曜日	礼拝後
み言葉と祈りの会	毎週水曜日	午後7:30

2025年度標語 『これは、人の意志や努力ではなく、
神の憐れみによるものです』

- ◎ 聖日礼拝を共に守りましょう。
- ◎ 日ごと聖書に聞き、祈りましょう。
- ◎ 家族・地域に福音を届けましょう。
- ◎ 平和を創り出すために働きましょう。

No.2513

受難節第四主日
礼拝式順序

2026年3月15日

受付
司会
献金
奏楽礼拝当番は
礼拝堂に集まった人の中で
可能な方に担当いただきます。

前	奏			
招きの言葉	[40]	ヨハネによる福音書第12章24節	司会者	
讃美歌		29	一同	
祈り			司会者	
聖書		ヨハネ伝12章24節		
		(新約聖書192ページ)		
讃美歌		303 (1-2節)	一同	
お話し		「一粒の麦」		
		川上直哉 牧師		
讃美歌		303 (3-4節)	一同	
献金			一同	
報告			司会者	
讃美歌		90 (1節)	一同	
祝福の祈り				
後奏				

*当教会では 着席のまま礼拝を守っています。
 *旧約聖書は前半(P.1502まで)、新約聖書はその後ろです。
 *献金の額はいくらでも結構です。持ち合わせがないときは次の機会に。

〇〇〇〇〇〇〇〇〇 公告 〇〇〇〇〇〇〇〇〇

2026年4月19日(日)礼拝後、礼拝堂にて、教会総会を開催します。
 25年度決算・26年度予算 並びに
 2027年度にて主任担任教師が任期満了となることに伴う
 「招聘委員会」設置の件 等を、話し合います。

〇〇〇〇〇〇〇 今週の集会 〇〇〇〇〇〇〇

☆「御言葉と祈りの時」 3月17日(水)19:30～ 録画配信のみ

〇〇〇〇 次週の予告 (3/22) 〇〇〇〇

☆ 受難節第五主日礼拝 (お話：川上直哉 牧師)

[聖 書]	マタイ伝20章28節
[お 話]	「使えるために、身代金として」
[讃美歌]	32 297 90 [招きの言葉] 38
受 付	
奏 楽	礼拝当番は礼拝堂に集まった人の中で 可能な方に担当いただきます。

〇〇〇〇〇〇〇〇〇 お知らせ 〇〇〇〇〇〇〇〇〇

✦今後の予定は以下の通りです

- ・3月29日(日) 役員会
- ・4月5日(日) イースター
- ・4月19日(日) 教会総会
- ・5月6日(日) ペンテコステ(聖霊降臨日)

3月22日(日)午後2時半から、柴宿教会で、先月逝去された伊藤義夫さんを偲ぶ
 会が持たれます。川上牧師は参加の予定です。ご一緒くださる方は、どうぞ、お知

《 先週の集会統計 》

聖日礼拝	12人	み言葉と祈りの会	-
早朝礼拝	3人	聖餐式	-
月定献金		特別献金	
川上恵・白井豊子・山口美紀子 (以上、3月)		坂本忠厚 (感謝) 山口美紀子 (3.11召天記念) 柴宿教会 (感謝)	
席上献金	¥24,810		

週報別冊

2026年3月15日号

1. 教会宛に、以下の通信が届いています。

【日本基督教団・東北教区関係】

- 「学報」(農村伝道神学校) : 5つある日本基督教団の神学校のうちの一つから、通信を頂きました。

【その他教会・団体関係】

- 「SINAPIS」(カトリック大阪高松大司教区社会活動センター) : 「四旬節が間近になったこの時期、ガザからの声はますます小さくなってきました。聖地に生まれただけ、身に覚えのない罪のために迫害され忘れ去られたガザ、今こそ、この小さな声を聴き分け、その痛みを分かち合うことの大切さを痛感します」と記す「静かなジェノサイド——へりくだり、死に至るまで、従順なガザ」(シナピス運営委員 西口信幸さん)等が掲載されています。
- 「ともしび」(福音文書印刷センター 愛隣社) : 「心に響く三浦綾子の言葉より」(三浦綾子読書会 相談役 森下辰衛さん)等が掲載されています。

2. 牧師動静

3月9日(月)

午前中、エマオで執務し、午後、石巻でワイズメンズクラブの仕事をしました。

3月10日(火)

午前中、「初心に帰ってルカ福音書を読む」を主宰し、午後、オンラインで東北ヘルプの会議をしました。

3月11日(水)

「3.11」の追悼礼拝を教会で行い、夜、ワイズメンズクラブの会合に出席しました。

3月12日(木)

午前中、蛇田復興住宅団地集会室で「3.11」の記念コンサートに出席し、夜、オンラインで一件の読書会に参加しました。

※牧師と面会をご希望される方は、ご連絡なく教会のメール宛、「ご連絡ください。右記日程を調整して、お会いしたく存じます。」

3月13日(金)

日中、仙台で二件の会議に出席し、夕方、石巻で「3.11」の新聞取材を受けました。

3月14日(土)

日中、教会で執務し、午後、石巻で会合に参加しました。

- 3月11日と12日に、教会と復興公営住宅集会場で、追悼礼拝とチャリティーコンサートが行われました。どちらも会場には30名余の人が集まり、11日の礼拝はZoomで全国から60人余の方々が参加してくださいました。本日は日本基督教団福島教会で「3.15 祈禱会と交流会」が開催されます。16回目の「3.11」を過ぎ越し、また新しい被災後の日常へ、礼拝と祈りをもって歩み出せますことを、神様に感謝しています。

3月16日(月)～20日(金)

韓国からの巡礼団をガイドして「キリシタンツアー」をしています。

3月21日(土)

午前中、エマオで「荊冠の神学」読書会を主宰し、夜、オンラインでワイズメンズクラブのホスト委員会を主宰します。

中寫住職は「ヒロシマ・ナガサキの核惨禍の前史にアジア太平洋諸国への侵略植民地化があった。フクシマの渦中に原発マネー・ファシズムと国内植民地化の横暴支配の前史が看破される」と根底的視野を示す。そして「一切の生きとし生けるものは幸福であれとのブダの『慈悲』はキリストの『愛』と響き合う」と「連帯」の重要性が示される。川上牧師は、再稼働などの反動に打ちひしがれそうな時、聖書から「声なき声の連帯」を読み取ったという。そこに聞こえた「低みに立って新しい一步を踏み出せ」との声は、筆者も含めた非宗教者にも向けられているように。

北村敏泰(きたむら・としひろ)
一九五一年生まれ。全国紙で記者、編集委員室勤務。二〇一一年、退職後に宗教専門紙論説委員などを経て現在はフリー。著書に『苦縁 東日本大震災 寄り添う宗教者たち』(徳間書店)『揺らぐいのち——生老病死の現場に寄り添う聖たち』(見洋書房)など。



わたしはこれから毒を吐く

文蒼野みずえ 写真 飛田晋秀

わたしはこれから毒を吐く
毒吐かないでこれから三月いづばいを
どうやって過ごさせて言うのを
三月が近づくと贖罪のように
「原発事故を忘れない」の言葉が押し寄せる

終わってもいないのに忘れないって
緊急事態宣言はいまだ出されたまま
東電の事故原因は次の地震があれば
とんでもないことになるのに、
忘れないって終わったことのように

隣の家が燃えて鎮火していないのに、
自分ちへ燃え移るかもしれないのに、
忘れないって
言っているようなものだから気づかない